



「2013 ぶくやま 人権・平和フォト 作品展」

2013年12月4日(水)～12月26日(木)

人権週間(12月4日～10日)に、市民が気軽に参加できる行事として始まった「人権平和フォト作品展」は、今年で7年目を迎えました。

今年度も、～ふれあい・ほのぼの・なかよし・よろこび・たすけあい～をテーマに写し撮った、無邪気に遊ぶ子どもの笑顔、温かな家族のつながり、幸せに満ちた表情、草花が醸し出す優しさなど、多彩な作品60点が寄せられました。

11月21日に4名の審査員による作品審査会を開き、人権部門・平和部門それぞれ入賞1点、入選3点を決定し、また、本年度、人権・平和部門を問わず特別賞を設定しました。

上野眞弓審査委員長からは、「全体的にレベルが上がっている」「窓からの自然光をハイライトに持ってきて遠近感を演出する。また、状況に応じてフラッシュを使用すると良い」「ピントは必ず合わせること」「トリミング等は、応募企画に合うよう行う」「作者の人生経験が醸し出されるような写真、作者の人生観が重ねあった気持ちが現れている写真が撮れると良い」などの講評がありました。

それぞれの作品から、撮影された人の“ふれあい・ほのぼの・なかよし・よろこび・たすけあい”の気持ちを、皆様一人ひとりが感じ取っていただければ幸いです。

多くの皆様の、ご来館をお待ちしております。



ぶくやま 人権平和フォトコンテスト 受賞作品



人権部門



入賞

「老いても笑顔
お忘れず」
岩森 憲司

平和部門



「ホラ、おいで」
島田 克



人権部門



平和部門

入選



「勝ったよ」

有岡 亨



「祈りの日」

大井 康平



「わーい、入園式だ」

中山 剛



「ゆるぎない絆」

森田 光郎



「泥んこサミット」

宮宗 孝明



「大丈夫、お兄ちゃんが」

手伝ってあげる」 井上 勝司



「とびっきりの笑顔」

光成 真由美

特別賞



「花ざかり」

山本 雅信